

## 授業概要

「子どもキャリアワークⅡ」は、「同Ⅰ」に引き続き、ボランティア先での継続した体験をとおして、保育者または教師としての資質および力量の形成、ならびに、就職に資することを目的とした授業である。

そのため、「子どもキャリアワークⅡ」は、「同Ⅰ」と同様に、保育士資格、幼稚園または小学校教員免許を取得する学生を対象として開講する。

## 授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	ボランティア活動先の選定（チューターと相談）
第3回	ボランティア活動1 ボランティア活動先との交渉（チューターへの報告）
第4回	ボランティア活動2 各ボランティア活動先の実態調査（チューターへの報告）
第5回	ボランティア活動3 各ボランティア活動先の実態把握（チューターへの報告）
第6回	ボランティア活動4 各ボランティア活動先の留意点（チューターへの報告）
第7回	ボランティア活動5 各ボランティア活動先の活動計画（チューターへの報告）
第8回	ボランティア活動6 各ボランティア活動の目的の文章化
第9回	ボランティア活動7 各ボランティア活動先への目的・計画の説明
第10回	ボランティア活動8 各ボランティア活動先での活動（チューターへの報告）
第11回	ボランティア活動9 活動計画についての修正
第12回	ボランティア活動10 各ボランティア活動先での活動
第13回	ボランティア活動11 各ボランティア活動の振り返り
第14回	ボランティア活動12 各ボランティア活動先での活動
第15回	ボランティア活動13 ボランティア活動の振り返りと報告書作成
第16回	ボランティア活動成果の報告会

## 到達目標

保育所、幼稚園いずれかの公的機関において、60時間以上のボランティア活動を実施できる。  
ボランティア活動の実施状況をチューターおよび授業担当教員に「子どもメール」を使用して毎週報告する。  
全ボランティア活動終了後に、成果を報告するとともに、報告書を提出することができる。

## 履修上の注意

「子どもキャリアワークⅡ」は学外でのボランティア活動を中心とした授業である。  
ボランティア先との交渉については各自で行い、園長または所長の許可を得ること。  
2～7・10回の授業の報告を必ずチューターに行い、その指導を所定の用紙に記録する。  
ボランティア先からの証明がない場合には、単位を認定しない。  
履修の方法および注意点等を説明するので、第1・2回のガイダンス、ボランティア活動先の選定には、必ず出席すること。欠席の場合には、活動は認められない。

## 予習復習

ボランティア活動の実施状況をチューターおよび授業担当教員に「子どもメール」を使用して必ず毎週報告すること。  
全てのボランティア活動の終了後に、報告会に参加して成果を報告するとともに、報告書を提出すること。

## 評価方法

ボランティア活動実施状況：60%  
ボランティア活動成果の報告および報告書：40%

## テキスト

特定のテキストを使用しない。  
参考文献については必要に応じて適宜紹介する。  
所定の記録用紙は、適宜配布する。